



Series	理事長インタビュー 「看護師の役割」	1・2
Report	看護師の1日に密着	3・4
Nurse's aspect	脳卒中が疑われる場合の対応について	5
Healthy course	立ち上がるための3つのポイント	6
Work on	笑顔の絶えない陶芸教室	8
Essay	鹿屠(ししとき)川	10

Topics 「書」に親しみ、「書」を楽しむセミナー

2か月に一度、太田淑子先生による「書」のセミナーを開催しています。色紙に千代紙やシールを貼ったり、厚紙やティッシュを筆の代わりに使ったり、楽しみながらオリジナル作品が完成します。



「長崎リハ太鼓“翔”」がデビュー!

昨年暮れ、院長を筆頭にスタッフで構成する「長崎リハ太鼓“翔(しょう)”」が和太鼓を初披露しました。

メンバーは1年ほど前から、毎週水曜日の午後7時半から9時まで、鯨太鼓保存会の指導を仰ぎながら、練習を積み重ねてきました。

この日、揃いのユニフォームに裸足での熱演。たくさんの方の温かい拍手を浴び、スタッフも大満足でした。



Information

「居宅介護支援事業所 銀屋」が再開

(☎095-821-1132 FAX.095-818-3454)

「人生経験は豊富ですので、より利用者の気持ちに沿った支援を心がけます」。ケアマネジャー二人の抱負です。



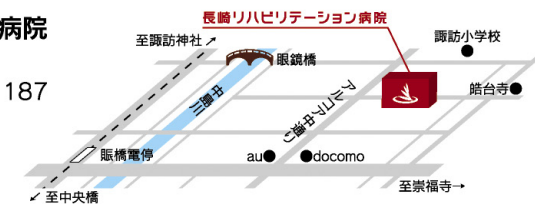
職員募集

当院では看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士を募集しています。

詳しくは、当院のホームページまたは、事務部人事(☎095-818-2002)までお問い合わせください。

編集後記

待望の第3号をお届けいたします。昨年6月の第2号発行以来、どんどん月日が流れ、せっかく準備した原稿を何度も書き換える羽目に。月日が経つのが早いのは、年をとった証拠でしょうか…。(西)



Series 理事長インタビュー
看護師の役割

看護師の懸命な献身で 患者さまの尊厳を守る

長崎リハビリテーション病院には70人余りの看護師が患者さまやご家族の身近な存在として、24時間をとおして、日常生活の自立支援を行っています。回復期リハビリテーション病棟の看護師の役割について、理事長の栗原正紀に聞きました。（聞き手・企画広報担当 西村真理）



——まず、救急病院や総合病院と異なる当院ならではの特色を教えてください。

専門職が力を結集した チーム医療実現に向けて

当院は、回復期リハビリテーションの専門病院です。私どもは「救急病院での専門的治療が終了したあとに、手足の麻痺や言語障害などが残った患者さまの障がい改善を目的として、1日3時間を目標に365日、集中的にリハビリサービスを提供し、安心した地域生活につなげていく」使命があると考えています。

そこで、病院設計の段階から「病院らしくない病院」で、かつ「地域に開かれた病院」をコンセプトにしましたし、勤務する医師や看護師は、他の多くの専門職とともに徹底したチーム医療を実現しようと努力しています。

当院には医師・看護師のみならず、介護福祉士（CW）、リハビリスタッフ「理学療

法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）」、社会福祉士（SW）、管理栄養士（RD）、歯科衛生士（DH）、薬剤師（PH）など、多くの専門職が勤務しているのも、他の救急病院や総合病院などの急性期病院とは大きく異なる点ですね。

また、病棟を軸とした徹底したチーム作りのために、病棟からナースステーションやナースコールという呼び名をなくし、スタッフ、ステーション、スタッフ、コールに変えています。

さらに、病院の組織作りの段階から、従来の看護部やリハビリ部・科などの縦割りの組織にしないことにしました。そして、現場のスタッフ全体を臨床部に包括しています。

つまり、当院には看護部やリハビリ部がありません。病棟の運営は従来の看護師長レベルであるマネジャー、医師、そしてリハビリおよび看護師の主任クラスであるアシスタントマネジャーが行っています。

チームの要として、患者さまの守護・支援者に

——回復期リハビリ病棟における看護師の役割とは、どのようなものでしょうか？

当院での看護師の業務は、医師同様、非常に多岐にわたっています。

まず、医師とともに病気の予防・治療という全身管理に従事します。なおかつリハビリスタッフの技術を個別の患者さまの状態に適した形で応用しながら、病棟内での日常生活の自立を支援していくということになります。

さらには、管理栄養士や歯科衛生士、薬剤師などの専門職が作成したプログラム・指導内容を実行していくという役割もあります。

患者さま10人に対して、 看護師1人の割合で対応

今や急性期病院では、国の政策によって入院期間が非常に短縮化され、肺や心臓・脳・消化器など

また、同時に、退院後の地域生活をイメージしながら、ご家族の介護指導を含めた援助を行うことも大切です。

このように、看護師は、患者さまの入院生活24時間の守護者・支援者として、チームの要となる重要な、そして大変な位置づけを担っているのです。



という臓器別の専門的治療が終われば、退院か転院をしなければならぬようになります。

この状況のもと、高齢の患者さまが非常に増加しており、医師も看護師

も大変な労力を費やしているというのが現状です。まるで目の前を患者さんが通過して行くような状況ですね。

ですから、例えば「栄養は鼻から管を入れればなしで」「オシッコは膀胱に管を留置して」「ひたすら安静にということになるのです。

制度的には急性期・救急病院が患者さま7人に対して看護師1人のところ、回復期リハビリ病棟では患者さま15人に看護師1人となっています。けれども当院では重度の障がいの患者さんも多いことから、増員して患者さま10人に看護師1人という割合に近づけています。しかし、いずれにしても、少ないマンパワーで、少しでも障がいを改善しようと努力しています。

もっと多くの看護師が従 事できる医療政策実現へ

患者さまが「口から食べられるように支援した

平成21年入・退院実績 (H21年1月1日～12月31日)

平成21年入院患者内訳

疾患別	総数	割合(%)
脳血管疾患	384	85
廃用症候群	29	7
運動器	29	7
対象外	4	1
総数	446	100

平成21年退院患者総数は439人で、在宅復帰(施設を含む)率は73%

経管栄養

口からの食事が難しい患者さまに必要な経管栄養。毎食時ごとにチューブを挿入するのは大変ですが、口の機能の衰えを防ぐために、入れたままにはしていません。また、より自然な形で栄養が胃に入っていくよう、チューブは胃までではなく、食道までの挿入にしています。



おいしいですか？

8:00

朝食



食事介助



食前の口腔ケア

アイスマッサージは口の中の細菌を除去して清潔を保つだけでなく、口の中や食道・胃に刺激を与え消化液の分泌を促します。

おはようございます。よく眠れましたか？

6:00



朝の挨拶をしながら病室を回り、起床時の排泄・洗面・日当着への更衣のお手伝いを行います。



8:30

フロアーミーティング



夜勤者から日勤者への申し送りと本日の予定など伝達事項を確認。患者さまの状態を確認し、情報を共有します。

熱は平常のようです。血圧も良さそうですね。何か気になることはありますか？

9:00



バイタル(体温、呼吸、脈拍、血圧)チェック

11:30

食前の口腔ケア・経管栄養



食後の口腔ケア、トイレ誘導、ケア(足浴、手浴、爪切り、耳掃除)

患者さまの覚醒が上がるように、好きな音楽をかけたり、足浴をしたり、いろいろな形で刺激を与えます。



12:00

昼食 食事介助

13:00

食後の口腔ケア

14:00



カンファレンス(協議)へ参加

患者さまの状態を確認し、リハビリテーションの計画を立てます。患者さまの状態を24時間通して看ている看護師ならではの視点で患者さまの状態を評価し、意見を述べます。

22:00 - 6:00

21:00

就寝前の排泄介助、水分補給のための経管挿入



巡視

夜中も2~3時間おきに、患者さまの状態を観察し、寝返りが打てない方の体の向きを変えるお手伝いをしています。体位を変えることで、血行不良や褥瘡(じょくそう)などを予防します。トイレへの誘導のお声掛けもしています。

19:00

ラウンド

食後の口腔ケア、更衣、整容、トイレ誘導ほか



ポジショニング

ご自身で動くことが難しい方の姿勢を正しく保ち、また長時間同じ体勢とならないように、患者さまの身体を動かします。

18:00

夕食 食事介助

血糖値を測りますね。

17:00



食前の口腔ケア・経管栄養の実施

16:30



フロアーミーティング

日勤者から夜勤者への申し送り



(次ページへ続く)

Healthy course 健康講座 Vol.2

「立ち上がり」 ～立ち上がるための3つのポイント～

人間は動物の中では、手を使わずに足だけでまっすぐに立ち、2本足で歩くことのできる唯一の哺乳類です。まっすぐに立つことは、人の心と体にさまざまな良い影響を及ぼします。

例えば、人は脳が大きく発達しているため、四つん這いよりも立った姿勢の方が頭を支えられます。また、立っているときには呼吸がしやすくなったり、消化が促進されたりします。そして足の裏からの刺激は脳を活性化させるという効果もあります。

立つことによって足の骨や筋肉が強くなり、日常生活においてはベッドから車いすへ乗り移ることや、トイレでズボンを上げ下げすることにつながります。

椅子からの立ち上がりや、その介助をするときに大切な**3つの**

ポイントをご紹介します。

- ・**足を引く（踵が膝より後ろ）**
立ち上がる前に足は膝より後ろに引いておくことで立ち上がりやすくなります。
- ・**前かがみになる**
前かがみになることで、頭が足よりも前に出て、体の重心が前上方に向かわないと立ち上がることはできません（介助する場合には前かがみにしながら、前上方に引き上げると立ちやすくなります）。
- ・**椅子やベッドの高さ**
椅子やベッドの理想的な高さは、個々の身長にもよりますが高齢者の場合、床から40～45cm程度とされています。この3つのポイントに気をつけることで、楽に立てたり、介助する場合でも楽に立たせることができます。ぜひお試しください。

立つまでの動作

足を前に出すと… た、立てない!

高ききる! 低ききる!

1 足を後ろにひく

2 前かがみになる

3 お尻が浮いてくる

4 ひざを伸ばして立ち上がる

立てるかな?

指1本でも前かがみをできなくすれば、立つことは出来ません

（前ページから続く）



熱計表や看護計画書、摂食機能の評価（口から食べられるかどうかなどの評価）を電子カルテに入力し、患者さまの自主トレメニューや退院後の生活に向けての資料なども作成します。



自主トレメニューもセラピスト（リハビリスタッフ）と協力して作成します。

退院後は、外来看護師がお待ちしています。

診察前に血圧や脈拍などを測ります。

診察後に運動練習などがある患者さまには、アクティブホール（リハビリ室）まで付き添います。

血圧もちょうどいいですね。急に暖かくなりましたが、体調を崩されたりしていませんでしたか。

脳卒中が疑われる場合の対応について ～がまんをしないで、すぐに専門病院へ～

脳卒中は、脳の血管が詰まったり、破裂したりして突然起こる病気。発症から3時間以内に専門的治療を受ければ劇的な回復の可能性も望めますが、治療が遅れば症状の悪化（命の危険性までも）や重篤な障がいが残ってしまいます。

【代表的な症状】

- 1 突然片方の手足に力が入らない、痺れる
- 2 ろれつが回らない
- 3 顔の半分がゆがんでいる
- 4 今まで経験したことのない激しい頭痛がする
- 5 頭痛と吐き気がして、吐いた……などがあげられます。

【対処法】

- 1 「何かおかしい、いつもと違う」と思ったら応援を呼んで119番（症状が起こった時間を確認して伝える）
- 2 救急車が来るまでに必要なこと
 - ▶ 呼びかけて意識がある時は…
 - (1) 寒くないようにして衣服をゆるめる
 - (2) 不安を軽減するためにそばに話しかける
 - (3) 吐き気があるときは吐いた物がのどにつまらないように横向きにして寝かせる
 - ▶ 呼びかけても反応がない時は…
 - ① 呼吸がない場合には仰向けにして気道を確認し、心臓マッサージを行う（呼吸がおかしい場合には、仰向けにして気道確保：顎を突き出して息がしやすいようにする）
 - ② 呼吸がしっかりしている場合には、(1)と基本的には同じ
- 3 救急車で脳卒中専門病院（脳卒中センター）を受診する

長崎…十善会病院、済生会長崎病院、恵美須町病院、長崎北病院、安永脳神経外科、長崎森の木脳神経外科、長崎大学病院
佐世保…佐世保中央病院、長崎労災病院、佐世保市立総合病院 県南…公立新小浜病院、長崎県島原病院
県央…宮崎病院、健康保険諫早総合病院、長崎川棚医療センター、長崎医療センター（青字…地域脳卒中センター、赤字…高次脳卒中センター）

看護師
たさき あさみ
田崎 麻美
長崎リハビリテーション病院

◎脳卒中は救急疾患です。様子を見ず（朝になるのを待たないで!）、すぐに救急車を呼んで、専門病院に行きましょう!

◎障がいの改善に最善を尽くし、安心して地域生活が送れるように専門的リハビリを受けることが肝要です（たとえ、家から遠くても!）。

注意点



患者さまの権利の尊重

患者さまにはどのような時・どのような状態においても、人として尊厳が守られる権利があります。その権利を大切に、患者さまが自己の意思で主体的に疾病や障がいを克服していただくように、わたしたちは願っています。また、わたしたちは、患者さま・ご家族との信頼関係に基づいた「患者さま中心の医療」を実践していきたいと思っています。

1. 最善の医療

患者さまには、誰でも、最善の医療を公平に受ける権利があります。

2. 人格の尊厳

患者さまには、その人格・価値観が尊重され、一人の人間として医療を受ける権利があります。

3. 納得と合意

患者さまには、病気・障がい・検査・治療・見通しなどについて、分かりやすい言葉や方法で納得できるまで、十分な説明を受ける権利があります。

4. 自己決定権

十分な説明を受けた上で、患者さまは治療方法などを自らの意思で選択し、決定する権利があります。

5. カルテの開示

患者さまには、自分のカルテの閲覧や複写、内容の要約や説明を受けるなど、診療記録の開示を求める権利があります。

6. プライバシーの保護

患者さまには、受診に関わる個人情報を守られ、プライバシーを乱されない権利があります。

7. 研究的医療

患者さまには、薬の治験（新薬の臨床試験）や治療法が確立されていない医療について、その目的や危険性など十分な説明を受けた上で、その医療を受けるかどうかを決める権利があります。同時にどのような不利益をも受けることなく、いつでもその医療を拒否する権利を持っています。

Work on 病院の取り組み

芸術作品が競々と 誕生しています！ 笑顔の絶えない 「陶芸教室」

2階アクティブホールの一角、作業室の中に陶芸窯があります。昨年4月から、鍛冶屋町にある陶芸教室「ガショウサラク」の岸川幸成先生を迎え、第2・第4月曜日に陶芸教室を始めました。

外来診療に来られている患者さまを中心に、現在、9人の患者さまと3～4人の病院スタッフというメンバーで活動しています。作品を総合受付に展示したところ、お見舞や外来診察に来られた方から、「この作品は購入できるのですか？」という嬉しい問い合わせも寄せられています。

最初はなかなか思い通りの形にならなかったり、うっかり削りすぎてしまったり、四苦八苦の連続ですが、「先生～！」と助けを呼べば、あら不思議。空いていたはずの穴があつという間に元通りになっています。回を重ねるごとに、だんだんと腕が上がり、自信も深まり、思い思いの作品が仕上がっているようです。



最初はなかなか思い通りの形にならなかったり、うっかり削りすぎてしまったり、四苦八苦の連続ですが、「先生～！」と助けを呼べば、あら不思議。空いていたはずの穴があつという間に元通りになっています。回を重ねるごとに、だんだんと腕が上がり、自信も深まり、思い思いの作品が仕上がっているようです。

始めたころと比較すると、いつの間にかメンバー一人ひとりの体力が付き、集中力も長続きするようになりました。最近では、スタッフから「根を詰めると疲れますから、休憩しながら作業してください」と声かけられることも。「こういうものを作りたい」と写真を持ち込まれる参加者もあるなど、笑顔とおしゃべりの絶えない教室となっていますよ～♪



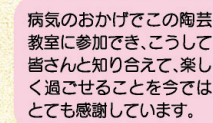
「集中力が回復」「仲間が増えて感謝」

当初から教室に参加されている二人に感想を伺いました。



森内繁広さん

集中力が落ちていましたが、陶芸で知らず知らずのうちに集中できているので、参加してとてもよかったです。



町田久美さん

病気のおかげでこの陶芸教室に参加でき、こうして皆さんと知り合えて、楽しく過ごせることを今ではとても感謝しています。

Developers 病院を支えるブレインたち

銀屋の「手仕事屋」を目指す プロショップ「あい・む」

当院の1階にあるプロショップ「あい・む」の店内は、赤を基調としていて、おしゃれな雰囲気です。ここでは、医療機器・福祉用具の販売・レンタルだけでなく、住宅の手すりを取り付けるなどの住環境整備も行っていきます。また、生活環境や障がいの程度は一人ひとり違いますので、専門の資格を持ったスタッフが「その人にとって、一番使い勝手がいい商品」を提案し、さらに「その人にとって、もっと使いやすいようになるよう」細かい調整まで行っていきます。スタッフが優しい笑顔で迎えてくれますので、気軽にのぞいてください。外側の入口からも直接入れますよ。



高知と長崎を行ったり来たり、忙しい日々を送っている石原寛社長に、ショップのあり方などについて話を聞きました。

「私たちは、病院に入院された方と一生のお付き合いが続きます。病院内に店舗がありますから、退院後の患者さまやご家族の様子を病院スタッフに伝え、また、病院スタッフからの伝言をご家族へ、というような「心と心を結ぶ」という役割が大事だと考えています」

石原社長は、2年前の開院準備段階から現在まで、高知と長崎との往復回数が100回を超えたそうです。

「街の自転車屋のような存在になりたい」

収益のみを追求するのではなく、採算を度外視しても患者さまの信頼と安心に一番の重きを置いています。

「プロショップとして医療知識の勉強は必要です。物を売って、ただ儲ければいいというものではありませんから、商品のリスクもきちんと伝えなければいけません。今は効率のいい合理的なビジネスを成功させるのが一番のようになってしまっていますが、もっと昔に回帰してもいいように思えます。うちでは、来店が難しい方のために、たとえ遠方でも車いすのタイヤチューブの交換だけにご自宅まで伺うこともあります。店が存続していくためには当然、収益確保が必要ですので、

経営者としては採算を考えると頭の痛いところですよ。それでも店舗拡大を目指すより、街の自転車屋のように気軽に声をかけていただける存在になりたいですね。ここで購入したものでなくても、もちろん修理や調整に応じます。私たちは小回りがききますし、メーカーに送らなくても、その場ですぐ修理に応じられるというのが強みでしょうか」

ショップの運営方針をさらりと語る言葉にも、プロの技術者としての「誇り」が垣間見られました。

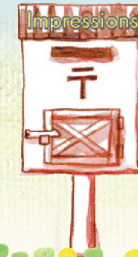


右端が石原社長

あい・む 有限会社 石原産業 長崎支店

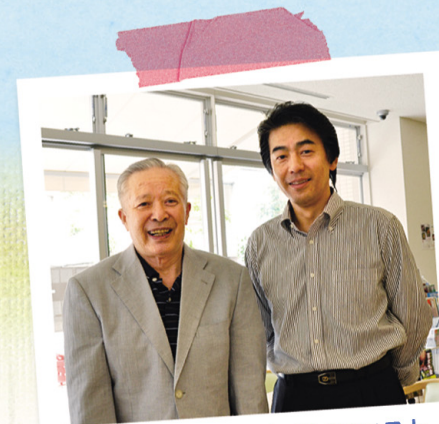
〒850-0854 長崎市銀屋町4-11 長崎リハビリテーション病院1階
TEL.095-829-5233 FAX.095-822-0663
営業時間/9:00～19:00(月曜～金曜) 10:00～16:00(土曜)
店休 日/日曜・祝日・第3土曜日

聞いてみゆうde 患者さまの声



～退院された患者さまから嬉しい便りが届きました～

当院の各フロアに設置しているコミュニケーションボックス(ご意見回収箱)には、患者さまやご家族からさまざまなご意見や感想が寄せられています。今回は、退院後訪問リハビリを利用されている石丸賢一さんのお便りをご紹介します。



ラウンジコンサートでピアニスト、中谷寿人さんと30年ぶりの再会
(石丸さんは小学校の先生をされていました)

長崎リハビリテーション病院を退院して1年2ヶ月が過ぎました。74歳になって初めての入院だったので、不安でなりません。どんな病院なのか、どんな人たちと一緒に心配でしたが、皆様の顔が見え、担当して下さるスタッフの紹介があり一息ついたものです。

病院といえば白い服を着たドクターと看護師さんが定番であり、幼児などの集団検診・予防注射ともなれば、その白衣を見ただけで大声で泣くのが当たり前ですが、そのような雰囲気は全くありません。白衣ではなく和らぐ色のユニフォームで、患者に対する心配りがされていて安心感が持てました。

毎日のリハビリは厳しくその時間が来ると療法士の方が鬼軍曹のように見えました。しかし、時が経つとその方々が姫君に見えて、そのお越しを楽しみに待つようになりました。

入院中は多くのスタッフに大変感謝していますが、名前と顔を覚えられなかったのが残念で大変失礼したと

石丸さんは退院後、訪問リハビリを利用されています。現在、歩行器を使用されていますが、当院で行っているラウンジコンサートに参加されたりしています。カメラを趣味にされていますので、陶芸の写真を撮っていただくこともあるんですよ。



陶芸の合間にパチリ

思います。それは皆様全員が同じように私を理解していただいたからだと思えます。毎日朝夕のミーティングで引き継ぎをしてもらえる様子を見て、安心してました。患者に対する細やかで温かい心配りと対応は本当に有り難く、お礼の申しようがありませんでした。

年末の院内での「もちつき大会」では、ジーパン姿の院長先生ほか全員で楽しく活動されました。その時にこの病院の原点を見出したものです。

今、週に一回、訪問リハビリに来ていただいています。病院の雰囲気があるまりにも良かったので、その空気とおいとスタッフの笑顔を忘れない為にも来てもらっています。

最近「陶芸教室」にもお世話になっています。家での運動の仕方も習いましたので、少しずつではありますが、回復しています。

入院生活は、良き方々との出会いでした。

石丸 賢一

Essay エッセイ

知ろうde銀屋

鹿屠(ししとき)川

銀屋町自治会長 吉村 正美



寛文3年(1663)の大火によって、長崎市街は、奉行所、寺社52のほか、町数63、戸数3352という大災害に見舞われました。寛文12年(1672)長崎奉行、牛込・岡部の両氏は貿易利銀配分のこともあって、町内の戸数の平均化を計り、八十ヶ町とし、同時に5つの川がつくられています。鹿屠(ししとき)川は八幡町から浜の町まで流れ、小島川と合流し、現在は銅座川に流れ込んでいます。

鹿屠川という名前は、八幡町の光源寺あたりに皮革関係の仕事をする人たちが多く住んでいたことに由来し、生活、産業汚水に加え、自然流水などの排水のため、この川をつくったものと考えられています。その頃は、川幅も広く、水量も多くて、荷を積んだ小舟が往来していた



と言われています。明治初期、外国人居留地を中心にコレラを始めとする伝染病が流行し、外国人居留者の要求によって、下水道の建設が進められました。川の幅は半分狭められ、川底に石畳が敷かれています。百年以上経た現在も破損することなく、水路としての役割をはたしています。

現在は、ほとんどが暗渠(あんきよ)となって商店や道路などになって川筋の確認すら困難ですが、旧磨屋町から旧本古川町までは川底の整然とした石畳の美しさを見ることが出来ます。

川底の石畳はまだ十分に使用に耐える立派なものですから、今後も大事にしたいと思っています。



奉仕活動で、きれいな川が甦る
20年ほど前の鹿屠川は、ゴミやタバコの吸い殻が投げ捨てられた、汚れた川でした。その様子に心を痛めた銀屋町の人々が毎日、川の清掃を続けました。その志は今もお受け継がれ、長年にわたる奉仕活動によって、ゴミを捨てる人もなくなりまし。

今ではきれいな流れを湛え、長崎の昔の風情をしのばせる名所の一つとなっています。

アスファルトの下に隠れていますが、全国的にもとても珍しい、レンガ造りの小さなアイ子橋がかかっています。



ランチは、黒米ランチ(780円)と黒米カレー(680円)の2種類で、土曜日は別メニューになります。

黒米ランチは黒米ご飯と味噌汁にコーヒ、おかずは毎日、変わります。この日はサラダに和え物、おひたし、ハンバーグ、きんぴら、卵焼きなど。丁寧に作られたおかずが少しずつお皿に盛られてでてきます。手作りにこだわり、自分たちが食べたくないものは出せない、と材料を充分に吟味。家庭的な雰囲気のお店で、作り手の心が伝わるようなホッとする味わいです。





この笑顔に元気をもらったり、癒されたりしている人も多いのでは？

Cafe Kiitos. カフェ・キーツ

住 所 長崎市諏訪町6-21-2F

TEL 095-825-1222

ホームページ <http://kiitos.area9.jp>

営業時間 11:30~19:00 (ランチはなくなり次第終了)

店休日 日曜日